

令和5年度

十勝管内事業概要



帶広
音更
士幌
上士幌
鹿追
新得
清水
芽室
中札内
更別
大樹
広尾
幕別
池田
豊頃
本別
足寄
陸別
浦幌



十勝川治水
100年
[ロゴ解説]
十勝川治水100年の「100」という数字の中に日高山脈や十勝川が海へ流れ着くイメージと、十勝の基幹産業である農業と漁業を表現したデザインです。ゼロが重なっているのは様々なつながりをイメージしています。



事業の推進方針

十勝は、北海道らしい雄大な景観、四季折々の自然環境が多くの観光客を呼び、また、地域で収穫される農水産物は安全・安心・美しさを誇る資源豊富な地域です。また、アドベンチャートラベルのボテンシャルも高く、国内外の観光需要は高まっています。これまでに先人が培ってきた資源を活かし、また持続的に発展させるためには、農水産業の生産の場となる「生産空間」を維持・発展させ、市街地や観光の場、輸送拠点を効果的に結びつけた十勝圏域全体を見渡した社会資本整備が必要です。

帯広開発建設部は、北海道総合開発計画に基づき、十勝地域の強みである「食」と「観光」、「再生可能エネルギー」を担う「生産空間」を支えるため、農林業の競争力・付加価値の向上、管内の交通・物流ネットワークの強化を図ります。また、「道の駅」の活用・充実を図ることにより観光客の広域的な移動・交流を促し地域連携を深めるとともに、かわまちづくりやサイクルツーリズムを通じた観光振興の促進を図り、世界水準の観光形成等に取り組んでまいります。

また、近年激甚化・頻発化する自然災害、切迫する日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の発生などに備え、治水・道路・農業基盤における防災・減災、国土強靭化の推進により災害に強い地域づくりを構築します。さらに、ゼロカーボン北海道等の実現に向けた先導的な取り組みや、建設現場の魅力や生産性の向上に図るためにi-Constructionを推進により、強靭で持続可能な国土の形成を目指します。

地域の関係者と協働のもと、豊かで災害に強く安全で安心な暮らしを支えていけるよう、さらなる十勝地域の発展を目指して各種事業を着実に進めてまいります。

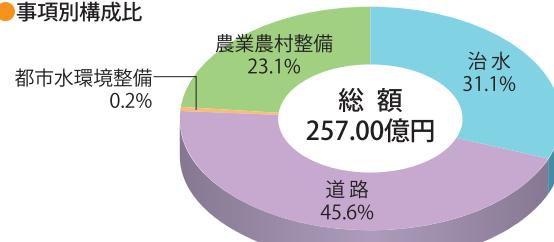
帯広開発建設部事業費総括表

事 項	事 業 費
治 水	7,987百万円
道 路	11,731百万円
都 市 水 環 境 整 備	45百万円
農 業 農 村 整 備	5,937百万円
計	257.00億円

※1. 農業農村整備を除き、工事諸費は含まれていない。

※2. 四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

●事項別構成比



※、四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

防災に関する地域支援

職員派遣による支援

TEC-FORCE (Technical Emergency Control Force)

テックフォースとは「緊急災害対策派遣隊」のことです。

近年激甚化する大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のための技術的支援など、被災した地方自治体等の災害復旧を支援します。

令和2年7月豪雨災害では、北海道開発局から九州地方整備局管内へTEC-FORCEを派遣するなど、国土交通省が一丸となって被災地域の1日も早い復旧活動を支援しています。



被災状況調査(熊本県八代市)

災害対策用機械による支援

災害時の緊急対応や情報通信手段の確保のための各種災害対策用機械を配備し、災害時には速やかに出動します。これらの災害対策用機械は地方自治体等の要請に基づき貸与することが可能です。

令和4年8月15日～16日にかけて前線と低気圧の通過により大雨となった際には、帯広市及び豊頃町に排水ポンプ車及び照明車が出動し、緊急排水支援を行いました。

このほか、地域の防災意識の向上を目的として、防災訓練や防災教育の場で災害対策用機械と災害時の支援活動について説明を行っています。

リエゾン (Liaison)

リエゾンとは「現地情報連絡員」のことです。

大規模な災害が発生した場合、又は発生のおそれがある場合に地方自治体等に職員を派遣し、(1) 災害情報や開発局への支援要望等の情報収集、(2) 災害情報の提供、(3) 災害対策用機械など、支援資機材等に関する連絡調整を行います。

帯広開発建設部では、平成28年8月の大雨災害時に、管内の9自治体に延べ70名の職員を派遣しました。



リエゾン活動状況(足寄町)



排水ポンプ車による排水支援(帯広市)



帯広工業高校での災害対策用機械を用いた防災教育
(写真左から照明車、対策本部車、衛星通信車)

治水事業

事業の概要

十勝川は、その源を大雪山系の十勝岳に発し、山間峡谷を流れ、十勝平野に入り、広大な畑作地帯を流下しながら、人口・資産が集積し、流域最大の市街地である帯広市に入ります。その後、急勾配である音更川及び札内川、利別川等を合わせ、低平地に広がる畑作地帯を流下し、豊頃町において太平洋に注ぐ、幹線流路延長156km(全国17位)、流域面積9,010km²(全国6位)の一級河川です。

十勝川流域は、大雪山国立公園をはじめとして、針葉樹林や針広混合林、湿原群落等の植物相が形成され、河川は、サケの遡上やシシャモの産卵といった魚類の繁殖の場となっています。

十勝川水系では、「強靭で持続可能な国土」の形成を目標に、流域で暮らす人々の安全・安心を確保するとともに、農林水産業・観光等を担う「生産空間」を支えるため、多様な動植物が生息・生育する自然との調和を図りつつ、以下の各事業を推進します。

また、気候変動の影響により激甚化・頻発化する災害に対応するため、あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」の推進、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」を重点的、かつ集中的に対策を講じ、強靭な国土づくりに取り組みます。

十勝川水系流域治水プロジェクト

気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、河川・下水道管理者等が行う治水対策に加え、あらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策「流域治水」の推進に向けて、流域全体で早急に実施すべき対策(①氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策)の全体像をとりまとめた「十勝川水系流域治水プロジェクト」に基づき、ハード・ソフト一体の事前防災対策を加速していきます。

河川事業

十勝川流域では、令和5年3月に変更した「十勝川水系河川整備計画」に基づき、洪水を安全に流下させることができるように、堤防等の整備や河道の掘削、堤防強化対策、侵食対策などの治水対策や、既存ダムの有効活用に向けた調査・検討を計画的に進めています。

また、堤防や樋門などの河川管理施設の機能を維持するため、堤防の除草や点検、樋門の整備などの維持管理を行うとともに、防災インフラの管理の効率化・高度化と予防保全(老朽化対策)を行っていきます。

砂防事業・大規模土砂災害への取組

戸鳥別川では、洪水における土砂・流木の流出による災害を未然に防止するため、土砂流出の抑制・調節を図る砂防堰堤及び床固工群の整備を行っており、今年度も整備を推進します。

大規模土砂災害への取組として、河道閉塞や雌阿寒岳、十勝岳の火山噴火に起因する土砂災害への危機管理対策や、地域への災害情報の周知、避難支援に関する対応の充実を図ります。

ダム事業

十勝川上流の十勝ダムは、洪水調節と発電を目的として、昭和59年に完成した多目的ダムです。また、札内川上流の札内川ダムは、洪水調節と水道・農業用水の供給及び発電等を目的として、平成10年に完成した多目的ダムです。

治水・利水機能を確保するためのダム管理に必要な施設の点検整備、観測・操作、流木処理などを行い、管理の充実を図ります。また、札内川ダムでは、放流能力増強等について、調査・検討を行います。



■十勝ダムの施設概要

高さ	84.3m
体積	3,715,000m ³
総貯水容量	112,000,000m ³
貯水面積	4.2km ²
ダムの集水面積	592km ²
ダム型式	中央コア型ロックフィルダム



■札内川ダムの施設概要

高さ	114m
体積	300m
総貯水容量	770,000m ³
貯水面積	1.7km ²
ダムの集水面積	117.7km ²
ダム型式	重力式コンクリートダム

都市水環境整備事業

十勝川流域では、良好な河川環境、景観を保全するための取組を行っています。

特に札内川は、近年、河道内の樹林化が著しく、かつて河道内で広く見られた礫河原(れきがわら)が急速に減少しており、氷河期の遺存種であるケショウヤナギの生育環境の衰退が懸念されています。一方、渡り鳥の繁殖地である礫河原は、十勝川水系の河川性鳥類の生息地としても重要なものとなっています。

このため、ケショウヤナギの生育環境の保全に加え、札内川特有の河川環境・景観を保全するため、流路変動などの河川のかく乱を復活させる取組を行い、礫河原の再生や川の更新環境の回復を図ります。

また、十勝川流域では、良好なまちと水辺が融合した空間形成の推進を目的に、「かわまちづくり支援制度」を活用し、観光客等の利便性向上や地域の観光の促進を図り、地域活性化を目指します。

かわたび
ほっかいどう

KAWATABI HOKKAIDO

北海道総合開発計画のもと、川の自然環境や景観、水辺の活動、サイクリング環境等、川に関する情報を発信するとともに、地域と連携して、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」プロジェクトを推進しています。

水辺でのホーストレッキングを情報発信

伐採木をおひる動物園でエサとして活用

国土交通省
川の防災情報

"気象"×"水害・土砂災害" 情報マルチモニタ



河道掘削土を活用した一時避難場所の造成(豊頃町)



河道掘削(利別川)



戸鳥別川第4号砂防堰堤(建設中)

●令和5年度 治水事業の概要

事業別	地区別等	事務所等	事業の概要
河川整備事業	十勝川中流、音更川・札内川等	帯広河川事務所	河道掘削・侵食対策、水防拠点等
	十勝川下流、利別川等	池田河川事務所	河道掘削、水防拠点等
	十勝川水系	帯広河川事務所 池田河川事務所	堤防管理、水閘門等維持管理、樹木伐採、河川巡視、施設点検等
河川工作物関連 応急対策	十勝川水系	池田河川事務所	水閘門等の応急対策等
堰堤維持	十勝ダム	帯広河川事務所 十勝ダム管理支所	施設点検・補修、設備更新等
	札内川ダム	帯広河川事務所 札内川ダム管理支所	堰堤改修
堰堤改良	札内川ダム	帯広河川事務所	地形・地質調査 事業計画検討等
砂防事業	砂防事業	十勝川水系(戸鳥別川)	砂防堰堤等

河道内の樹林化後の状況
(平成22年撮影)



取組実施

- ・流路変動や河床かく乱による礫河原再生
- ・礫河原依存種の世代交代

●令和5年度 都市水環境整備事業の概要

事業区分等	地区別等	事務所等	事業の概要
総合水系環境整備事業	十勝川水系札内川	帯広河川事務所	自然再生 帯広市、幕別町、中札内村
	十勝川水系十勝川	帯広河川事務所	水辺整備(かわまち)帯広市
	十勝川水系十勝川	帯広河川事務所、池田河川事務所	水辺整備(かわまち) 音更町、池田町、幕別町

道路事業

事業の概要

帶広開発建設部では、十勝管内における高規格道路や一般国道8路線の整備・維持・管理を行っています。

北海道総合開発計画等を踏まえ、「食と観光を担う生産空間の維持・発展と人が輝く地域社会の実現」「世界水準の観光地形成」「強靭で持続可能な国土の形成」等を推進するとともに、国内の食料供給基地として重要な役割を担うほか、北海道らしい雄大な風景を誇る十勝地域において、「食」や「観光」に関連する分野での成長と競争力の強化、地域社会に活力をもたらす「生産空間」「基礎圈域」の保持・形成を図るための基盤整備、施策を推進します。

北海道型地域構造の保持・形成

●広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備

広域分散型社会を形成している北海道において、食・観光等の基幹産業を支えるとともに、国土の強靭性を確保し、地域間の連携強化を図るため、高規格道路ネットワークの整備を推進します。



北海道横断自動車道(足寄～北見)の整備

世界水準の観光地の形成

●「道の駅」の日常生活や地域経営の拠点化

地方部「生産空間」を支える都市機能・生活機能の維持・確保を図るために、日常的なサービス機能を「道の駅」に集約するとともに、道の駅の交通結節点化や防災拠点化など、地域の拠点化に向けた多様な取り組みを推進します。



「トカチ400」(ナショナルサイクルルート)の走行環境整備

●「シニックバイウェイ北海道」の推進

ドライブ観光への情報発信・誘導、景観の重点的保全を行うなど、地域と協働した取組を進めるとともに、魅力ある道路景観を地域の重要な観光資源の一つとして確立するため、「シニックバイウェイ『秀逸な道』」の取り組みを推進します。

●サイクリングルートの推進「トカチ400」

世界水準のサイクリングルート環境の実現に向け、地域や道路管理者等が連携し、安全で快適な自転車走行環境の創出、サイクリストの受入環境の改善及び情報発信等の取組を推進します。

トカチ400が日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとしてナショナルサイクリングルートに指定(令和3年5月31日)されたことを受け、これらの取り組みを一層推進します。

強靭で持続可能な国土の形成

●災害から迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

「防災・減災、国土強靭化に向けた道路の5か年対策プログラム」等に基づき、防災震災対策や高規格道路のミッシングリンク解消を推進します。



国道241号音更大通(交通安全対策・無電柱化)

●交通安全対策の推進

事故多発区間での事故データを用いた分析やビッグデータを活用した潜在的危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する「事故ゼロプラン」を推進するとともに、自転車事故の危険性が高い区間にについては、自転車走行環境の改善を計画的に推進します。

●防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化の推進

道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から、低コスト技術を積極的に導入しつつ、無電柱化推進計画に基づき、各道路管理者・関係事業者の連携の下、新設電柱の抑制及び無電柱化のスピードアップを図ります。

●道路施設の老朽化対策・耐震補強対策

定期点検等により確認された修繕が必要な橋梁・トンネル・道路付属物・舗装等の対策を集中的に実施するとともに、ドローン等新技術の活用による点検の高度化、効率化により戦略的なインフラ老朽化対策を推進します。また地震による被害を最小限に抑えるため、耐震補強対策を実施します。

●冬期交通の確保

冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格道路の整備、国道における防雪対策、近年多発する大雪・暴風雪時における情報発信の強化等を図っていきます。



SNSを通じた道路情報提供

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部道路情報
@Hokkaido_RoadInfo

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部道路情報
#9910
(全国共通番号)

●通行止め区間の路線名、場所、日時、原因などをお知らせします。
●通行止めの実施時と解除時にメールを配信します。

通行止め情報メール配信サービス
<https://www.road-info-prvs.mlit.go.jp/announce/as/>

●令和5年度 道路事業の概要

広域分散型社会を支える高規格道路ネットワークの整備	
路線・地区名	主要事業
E01 北海道横断自動車道網走線 E02 帯広・広尾自動車道 (国道236号)	足寄～北見 大樹広尾道路(忠類大樹～豊似) 大樹広尾道路(豊似～広尾)
道路施設の老朽化対策	
国道38号	鎮橋架替
国道38号ほか	橋梁修補、トンネル補修ほか
防災対策・震災対策	
国道236号	野塚防災
国道236号ほか	法面对策、橋梁耐震補強ほか
交通安全対策	
国道38号	帯広市西2条北1丁目交差点改良 帯広市西7条北1丁目交差点改良 (令和5年度新規事業化) 芽室町東10条10丁目交差点改良 (令和5年度新規事業化)
国道236号	更別路肩改良 (令和5年度新規事業化)
国道241号	音更大通6丁目交差点改良 (電線共同溝含む)
国道274号	瓜幕路肩改良

農業農村整備事業

事業の概要

十勝管内では、明治16年の民間開拓移民団の入植以降、近代技術の導入や排水改良等の基盤整備が計画的に進められ、現在では、約24万haという広大な土地資源(耕地)を活かした大規模な畑作・酪農経営が展開されています。

一方で近年は、経営規模の拡大に伴う労働力不足や降雨形態の変化に伴う湛水被害、干ばつ被害に加え、土地改良施設の老朽化といった緊急性の高い課題への適切な対応が求められています。これら課題に向き合いながら農業農村整備事業を着実に進めることで、本地域農業の振興を図っていきます。



用水の安定供給に向けて管の布設作業(芽室川西地区 帯広市)

国営かんがい排水事業

農地に水を導いてその土地を潤す「かんがい」や農地にある余分な水を排除する「排水」を行う事業です。

この事業により農業用施設の新設や改修を行うことで、湛水被害や干ばつ被害を未然に防ぐとともに、質のよい食料の安定生産を可能にします。

●芽室川西地区

地区概要: 小麦・てんさい・ばれいしょ・豆類等の畑作物を主体に、ながいも・スイートコーン等の野菜類を組み合わせた農業経営が展開されています。

事業内容: 農業用水の安定供給と施設の維持管理の軽減を図るため、美生ダム(芽室町)の管理施設の改修や用水路の新設を行います。



整備が待たれる排水機場(新川二期地区 幕別町)

●新川二期地区

地区概要: 小麦・豆類・てんさい等の畑作物を主体に、キャベツ・にんじん等の野菜類を組み合わせた農業経営が展開されています。

事業内容: 排水機能の安定的な確保と施設の維持管理の軽減を図るため、老朽化している上統内排水機場及び排水路の改修を行います。



整備前の湛水被害状況(笹川地区 鹿追町)

●新更別地区

地区概要: 小麦・てんさい・ばれいしょ・いんげん・小豆・スイートコーン等を組み合わせた農業経営のほか、飼料作物を栽培して乳用牛を飼養する酪農経営が展開されています。

事業内容: 農地の湛水被害の解消により農業生産性の向上及び農業経営の安定を図るため、排水路の整備を行います。

●十勝川左岸二期地区

地区概要: 小麦・てんさい・スイートコーン等を組み合わせた農業経営のほか、飼料作物を栽培し乳用牛を飼養する酪農経営が展開されています。

事業内容: 農業用水の安定供給、施設の維持管理費の軽減、湛水被害の解消を図るために、貯水池、用水路及び排水路の整備を行います。

●笹川地区

地区概要: 小麦・てんさい・ばれいしょ・小豆・キャベツ等を組み合わせた農業経営のほか、飼料作物を栽培して乳用牛を飼養する酪農経営が展開されています。

事業内容: 農地の湛水被害の解消により農業生産性の向上及び農業経営の安定を図るため、排水路の整備を行います。

●令和5年度 農業農村整備事業の概要

1.実施地区

事業種別	地区名	事務所等	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営かんがい排水	芽室川西	帯広農業事務所	帯広市、芽室町	20,623ha	ダム(改修)1箇所 用水路27条
	新川二期	帯広農業事務所	豊頃町、幕別町	1,625ha	排水機場1箇所 排水路3条
	新更別地区	帯広農業事務所	更別村	2,050ha	排水路(改修)1条 排水路(新設)4条
	十勝川左岸二期	鹿追地域農業開発事業所	音更町、清水町、芽室町	6,560ha	ダム(改修)1箇所 用水路2条 排水路2条
	笹川地区	鹿追地域農業開発事業所	鹿追町	611ha	排水路(新設)1条

2.調査計画地区

事業種別	地区名	事務所等	関係市町村名	受益面積	事業の概要
国営かんがい排水	清川二期	農業計画課	帯広市	2,650ha	排水路5条
	札内川流域	農業計画課	帯広市、中札内村、更別村、幕別町	29,446ha	頭首工1箇所 用水路32条

調査計画地区

●清川二期地区

地区内の排水施設は、近年の降雨条件の変化による洪水流出量の増加に伴い、排水能力が不足し湛水被害が生じています。

このため、既存の排水施設の拡幅整備を行う事業の実施に向けた調査計画を進めます。

●札内川流域地区

地区内では、近年の営農の変化に伴い水需要が変化するとともに、用水施設が未整備な一部区域では農業用水を降雨に依存し、農業生産性が低く営農上の支障となっています。また、既存の用水施設は経年的な劣化等により施設の維持管理に多大な費用を要しています。

このため、水需要の変化に対応した用水再編による新たな用水確保及び老朽化した用水施設の整備を行う事業の実施に向けた調査計画を進めます。

管内の概況

位置・気候

十勝管内は、北海道の東南部北緯 $42^{\circ}09'$ ～ $43^{\circ}38'$ 、東経 $142^{\circ}40'$ ～ $144^{\circ}02'$ に位置し、北に大雪山系、西に日高山脈が連なる太平洋側に拓けた広大な農業地帯です。中央部を貫流する十勝川は、大雪山系十勝岳を源として太平洋に注いでいます。

十勝地方の気候は、太平洋岸を除き大陸性気候で、帯広市の年間の平均気温は 7.2°C です。降水量は約934mmと道内主要都市の中でも少なく、日照時間は年間約2,031時間と恵まれており全国的にも晴天率の高い地域です。

事項		気象数值												全年	
		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
帯 広	気 温	最 低	-13.0	-11.8	-5.2	0.8	6.3	10.8	15.3	16.6	12.8	5.3	-1.0	-8.9	2.3
	最 高	-1.5	-0.1	5.0	12.4	18.2	21.5	24.6	25.5	22.1	16.0	8.5	1.1	12.8	
	平 均	-7.0	-5.6	-0.2	6.1	11.7	15.3	19.2	20.3	16.9	10.3	3.6	-3.8	7.2	
	降 水 量 (mm)	41.5	29.6	46.6	62.0	85.1	81.4	106.0	148.4	136.4	85.7	59.0	53.2	934.7	
日 照 時 間 (h)		188.6	192.4	217.1	196.9	188.6	151.9	123.3	125.5	137.1	168.4	167.0	174.7	2031.3	
札 幌 平 均 気 温 (°C)		-3.4	-2.7	1.3	7.3	13.1	17.1	21.3	22.4	18.8	12.2	5.3	-1.0	9.3	
東 京 平 均 気 温 (°C)		6.0	6.8	10.0	14.8	19.4	22.5	26.3	27.7	24.1	18.8	13.6	8.4	16.5	

※緯度経度・気候は十勝総合振興局管内概要とくち2022(北海道十勝総合振興局)

※気象は平成5年～令和4年(1993～2022)の30か年平均(気象庁ホームページから帯広開発建設部作成)

面積・人口・土地利用

十勝管内は、1市16町2村で構成され、総面積は $10,831.62\text{km}^2$ と全道の約13%を占めており、振興局ごとの面積では第1位となります。また、全国との比較では都道府県面積で第6位の秋田県と第7位の岐阜県の間に位置します。

総人口は、331,894人で、うち地域経済の中心である帯広市に人口の約50%の165,047人が集中しています。

土地の利用面積は、山林が $4,569\text{km}^2$ (42.2%)と最も広く、次に畑の $2,415\text{km}^2$ (22.3%)、牧場の 288km^2 (2.7%)と続き、田は 21km^2 (0.2%)とわずかです。

※面積は令和5年全国都道府県市区町別面積調(1月1日時点)(国土地理院)

なお、然別湖は水面が境界未定のため、上士幌町及び鹿追町の面積に含まれない(十勝全体の面積に含まれる)

※人口は令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口

※土地利用は第129回(令和4年)北海道統計書(北海道総合政策部)

産業

農業

十勝農業は、経営耕地総面積約23万haという広大な土地を背景に、我が国における代表的な畑作酪農地帯を形成し、食料供給基地として国民の期待を担っており、かつ、十勝の基幹産業となっています。

十勝農業の全道に占めるシェアは、販売農家数15.0%、耕地面積22.7%となっています。また、一戸当たりの耕地面積は 47.1ha (全道平均 27.4ha)、主業農業経営体率は86.7%(全道平均71.7%)と大規模かつ主業率の高い農業地帯となっています。

令和2年の農業産出額は、3,042億円となっています。

※2020年農林業センサス(農林水産省)、令和2年市町村別農業産出額(推計)(農林水産省)

十勝で収穫される主な作物(収穫量)の全国シェア

区分	てんさい	ばれいしょ	小麦	大豆	小豆
全国	4,061千t	1,841千t	1,091千t	246千t	52千t
十勝	1,889千t	780千t	299千t	32千t	37千t
全国シェア	47%	42%	27%	13%	71%

※農林水産省「作物統計(令和3年度産)」

小豆は、北海道農政事務所「北海道農林水産統計(令和2年度産)」及び十勝総合振興局調べ(令和2年度産)

林業

十勝管内の森林面積は、およそ690千haで全道森林面積の12.5%を占めており、上川、オホーツク管内に次ぐ主要な森林地帯を形成しています。また、十勝の土地総面積に対する森林面積の割合は63.6%を占めています。森林の所有者別では、国有林が60.3%、民有林は39.7%となっています。

恵まれた森林資源を背景に林業は管内の主要な産業のひとつとなっており、地域の木を地域で利用し消費する「地材地消」の取組を進め、森林資源の循環利用を促進しています。

令和3年度の伐採材積は、932千m³となっています。

※令和3年度北海道林業統計(北海道水産林務部)

水産業

十勝管内の漁業は、寒流と暖流が接した好漁場の道東太平洋におけるサケ、スケトウダラ、シシャモ、タコ、ツブ、コンブ等を主体とした沿岸・沖合漁業です。

拠点となる漁港には、広尾町の十勝港(漁港区)・音調津漁港、大樹町の旭浜漁港・大樹漁港、豊頃町の大津漁港及び浦幌町の厚内漁港があります。各漁港で整備事業が進められており、今後の発展が期待されています。

令和3年の生産高は7万t、生産額は53億円となっています。

※令和3年北海道水産現勢(北海道水産林務部)

工業

十勝管内の工業は、食料品製造業、木材・木製品製造業(家具を除く)など、第一次産業に深く結びついた地場資源型工業のほか、電子部品・デバイス・電子回路製造業が主体となっています。

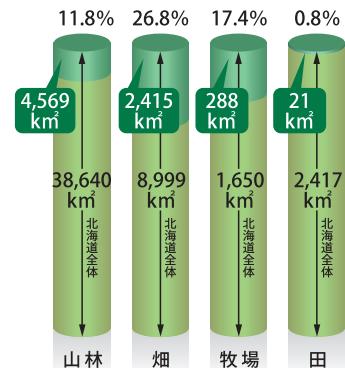
令和2年の年間製造品出荷額は、5,048億円となっています。

※2020年工業統計調査(経済産業省)、2020年工業統計確報(北海道総合政策部)

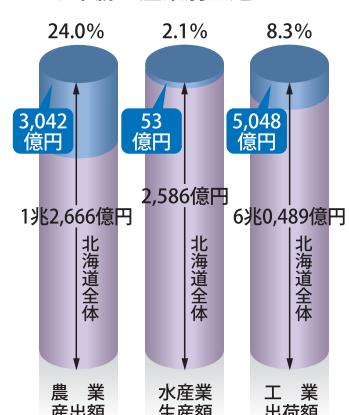
●十勝の全道に占める面積と人口の割合



●十勝の土地利用構成比(全道シェア)



●十勝の産業別全道シェア



管内市町村の概要



●面積 / 619.34km² ●人口 / 165,047人

十勝圏の中核都市として豊かな自然環境と快適な都市機能が調和する田園都市。また「食と農林漁業」を柱とした地域産業政策「フード・バーーとかち」を十勝全体で推進している。R2に日本で初めて大学構内に酒蔵「碧雲蔵」が開設。世界で唯一の「ぱんえい競馬」開催や「お菓子のまち」としても有名。平成20年に環境モデル都市に認定され、低炭素社会の構築に向けた取組を行っている。

■地名の由来 / 「オバレベレケブ」(川尻がいくつにも分かれている川の意)から転訛。

■観光名所/ぱんえい競馬、幸福駅、愛國駅、紫ガガーデン、八千代公共育成牧場、岩内仙峠、緑ヶ丘公園、北の屋台・十勝乃長屋、真鍋庭園、おびひろ動物園など。



●面積 / 466.02km² ●人口 / 43,483人

日本有数の生産量を誇る小麦や豆類などを育む肥沃で広大な耕地と、美しい自然に恵まれた緑豊かなまち。北海道遺産に選定された「モール(植物性)温泉」で知られる「十勝川温泉」などがある。道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」が道東道新幹線付近に移転オープン。また、全道町村で最も人口が多い「全道一の町」である。

■地名の由来 / 「オトブケ」(毛髮が生えるという意味)から転訛。

■観光名所/道の駅おとふけ、道の駅ガーデンスパ十勝川温泉、十勝川温泉、十勝が丘公園(花時計「ハナツク」)、十勝が丘展望台(シーニックカフェ)、十勝牧場展望台、白樺並木、道立十勝エコロジーパークなど。



●面積 / 259.19km² ●人口 / 5,946人

畑作、酪農、畜産などが盛んで、面積の約60%が農用地という全国有数の農業のまち。特にじやがいもの加工施設は国内有数で、生産者還元用の限定商品であるボテチップスが有名。高校生と地元企業が共同で地場産品を使った商品開発を行い、道の駅の人気商品になっている。また、地元高校では様々な農産物の認証取得を目指しており、生徒が農業生産や地域活動において活躍している。

■地名の由来 / 「シユウウォロー」(広大な土地の意)から転訛。

■観光名所/道の駅アビ21しほろ、道の駅しほろ温泉、土幌高原ヌプカの里(水芭蕉園、美濃の家・伝統農業保存伝承館、朝陽公園ホタルの里、土幌鉄道記念公園(土幌交通公園))など。



●面積 / 694.23km² ●人口 / 4,935人

大雪山国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、日本一広い公共牧場であるナイタインハイ原牧場に加え、熱気球の町としても有名。移住定住を推進し、ふるさと納税を活用した子育て支援に取り組んでいる。また、バイオガス発電によるエネルギーの地産地消がSDGs表彰を受けているほか、令和4年4月に脱炭素先行地域に選定された。旧国铁土幌線のタウコバツツ橋梁は北海道遺産であり季節によって姿を変える幻の橋として人気。

■地名の由来 / 士幌川から分村の士幌川の上流に位置することから名付けられた。

■観光名所/道の駅かみしほろ、ぬかびら源泉郷、糠平湖、三国峠、ナイタイン高原牧場、ひがし大雪自然館、旧国铁土幌線コンクリートアーチ橋梁群(北海道遺産)など。



●面積 / 402.88km² ●人口 / 5,228人

道内で最も標高が高く幻想的な然別湖を有し、「とかち鹿追ジョパーク」は他に見られない「凍れ(しばれ)」という特徴を持つ。国内最大規模となる2か所の資源循環型バイオマスプラントが町の事業として稼働している。余剰熱を活用してマンゴー栽培、チョウザメ養殖事業などを行っており、令和4年4月に脱炭素先行地域に選定された。また、バイオガスから水素を生成し車両に充填する道内で初めての固定式のステーションがあり、町内でも水素燃料車が利用されている。

■地名の由来 / 「クテクウシ」(シカ捕り柵のあるところの意)の和訛から。

■観光名所/道の駅かみしほろ、道の駅うまい、道の駅うまい、神田日勝記念美術館、然別湖、東雲湖、鹿追町ライディングパーク、とかち鹿追ジョパーク、福原山莊など。



●面積 / 1,063.83km² ●人口 / 5,668人

農業、林業を主産業とするまち。町立女性専用農業体験実習施設レディースファームがある。特産品は良質なそばの産地ならではの新得そばをはじめ、ナチュラルチーズ、鹿肉、新得地鶏、そば焼酎など。狩勝高原を中心に乗馬、スキー、ラフティング等を楽しめるリゾート地でもある。手話の理解を広めるため、町村では全国初の「手話に関する基本条例」を施行した福祉のまち。

■地名の由来 / 「シットク・ナイ」(山の肩・端)、「シントコ」(酒造りの漆器)から転訛。

■観光名所/トムラウシ温泉、狩勝峠、旧狩勝線跡、くつたり温泉、十勝サホロリゾート(ペア・マウンテン)、そばロードなど。



●面積 / 402.25km² ●人口 / 9,157人

日勝峠の東側に位置するまちで、「日勝峠展望台」などの眺めの良い場所が多く存在する。地元産のブランド牛土幌牛鶴鳥を使用したご当地グルメ「十勝牛玉ステーキ丼」が人気。また、第6次産業化にも力を入れており、有機肥料で育てた地元産にんにくを使用し町内加工した「黒にんにく」が有名。

■地名の由来 / 「ベケレベツ」(きれいな川の意)の和訛から。

■観光名所/日勝峠展望台、美蔓バノラマパーク、清水円山展望台、十勝千年の森、清水公園(展望パークゴルフ場)など。



●面積 / 513.76km² ●人口 / 18,181人

スイートコーンの作付面積・生産量ともに日本一のまちで、十勝芽室コーン炒飯がご当地グルメ。近年落花生の生産も盛んで、落花生の産地化を目指している。ゲートボール発祥の地。また、芽室サイクリルソースでは地元ガイドと共に巡る散歩が行われている。新嵐山では再整備が進められており、敷地内にはワイナリーが建設され、町内産ブドウのワイン・糖造などに取り組んでいる。

■地名の由来 / 「メム・オロベツ」(わき水のところの川の意)から転訛。

■観光名所/新嵐山スカイパーク展望台、芽室公園(花菖蒲園)、ふるさと歴史館ねんりん、めむろみのりーの、メムロスキー場、10線防風林など。



●面積 / 292.58km² ●人口 / 3,913人

日高山脈中央部を源とする清流「札内川」流域に広がる、「花と緑とアートの村」。グラビング施設やドイツ休暇村スタイルの長期滞在型コテージが整備され、美しい農村景観と美術館などの見どころや、枝豆や卵などの農産物を求める多くの観光客が訪れている。「日本で最も美しい村」連合に加盟している。

■地名の由来 / 「サチナイ」(乾いた川の意)から内川の中流に位置するので「中」を冠した。

■観光名所/道の駅なかさつない、札内川園地(ピョウタナンの滝)、一本山展望タワー、六花の森、六花亭アートヴィレッジ中札内美術村、豆資料館(ピーンズ邸)、花畠牧場など。



●面積 / 176.90km² ●人口 / 3,177人

農家1戸当たりの経営面積、トラクター所有台数が国内最大級。道内初のキャリア5Gの基地局が整備された村で、スマート農業先進地。村にあらんどんぐり公園すももの里は約3haの広大な敷地に1,000本を超えるすももの木が春の訪れを告げる。農畜産物とすももの加工品が人気。

■地名の由来 / 「サラベツ」(葦・茅の生い繁るところの意)に更別の漢字を当てたもの。

■観光名所/道の駅さらべつ、十勝スピードウェイ、どんぐり公園(プラムカントリー)、さらべつカントリーパーク、更別農村公園など。



●面積 / 815.67km² ●人口 / 5,423人

北海道に「宇宙版シリコンバレーをつくる」という目標を掲げるまち。町内のロケット射場から、民間企業単独で開発・製造したロケットが打ち上げられている。今後は異なるスペースポートの整備が予定されている。過去何度も日本一の清流に選ばれている「歴舟川」では、砂金掘体験やカヌーを楽しめる。

■地名の由来 / 「タキウシ」(森林が茂密するところの意)から転訛。

■観光名所/道の駅コスモル大樹、宇宙交流センターSORA、晩成温泉、カムイコタン公園キャンプ場、坂下仙峠、十勝ホロカヤントー豊穴群など。



十勝くとかち

1市16町2村

面積 / 10,831.62km²
人口 / 331,894人

■地名の由来…「」内はアイヌ語



●面積 / 596.41km² ●人口 / 6,359人

十勝の海の玄関である重要港湾「十勝港」とともに発展してきた。ノルウェーオースロ市から、国内唯一の「サンタランド」として認定されている。国道336号沿いには、道路脇を直接流れ落ちる「フベの滝」がある。ししゃもやカニをはじめとする豊富な海産物と農産物が楽しめるまち。フンベ海岸は、サーファー間で人気の日本屈指のサーフスポット。

■地名の由来 / 「ヒレイ」(ヒは石が転がる、ルイは砾石がとれる地の意)から転訛。

■観光名所/ひろおサンタランド(大丸山森林公園)、日高山脈襟裳国定公園、十勝郡シーサイドパーク広尾、フンベの滝、黄金道路など。



●面積 / 477.64km² ●人口 / 26,273人

「パークゴルフ」発祥の地。ナウマン象の化石骨が発掘された地としても知られている。町内各地の小高い丘に「シニニックカフェちゅうるい」、「明野ヶ丘公園」展望台タワー、「丸山展望台」等が整備され十勝平原の雄大な景色を見ることができる。また、多くのオリンピック選手を輩出している「オリンピアンのまち」としてスポーツを通じて交流するまちづくりを進めている。

■地名の由来 / 「マクンペリ」(山の方にある川の意)から転訛。

■観光名所/道の駅チムケン、野門ヶ丘公園(ピラリ)、十勝ヒルズ、フロンティア通り、忠類ナウマン象記念館、魚道観察室ととろー、幕別町ふるさと館、忠類白銀台スキーエ場など。



●面積 / 371.79km² ●人口 / 6,288人

全国初の自治体ワイン・ワン・ワインを製造し、ワインアーリスムの先駆けとなってきた「池田ワイン城」がリニューアルされ、製造工程の見学エリアや物販スペースが拡充された。また、地域独自のワイン用ブドウ「山幸」が国際品種に登録された。町内で肥育から加工処理までが行われる「いだ牛」が人気。

■地名の由来 / 「池田侯爵が開設した池田農園の名称をとり池田とした。

■観光名所/ワイン城 千代田壌壠、DCTgardenKEEDA、十勝まきばの家、清見ヶ丘公園、池田町郷土資料館など。



●面積 / 536.71km² ●人口 / 3,031人

十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。樹齢約150年の「はるにれ」がまちのシンボルで、1月中旬から2月下旬に大津海岸で見られる「ジュエリーアイス」は近年人気が高い。二宮尊親(二宮尊徳の孫)を開拓の祖とし、道内唯一全国報徳研究市町村協議会に加盟しており、全国16市町村と連携しながら、「報徳のおしえ」を継承し互生産事業を行っている。

■地名の由来 / 「エ・コロ・コロ」(大きな木の意)から転訛。

■観光名所/はるにれの木、茂岩山自然公園、湧洞沼、長節湖、とよころ物産直売所、大津海岸(ジュエリーアイス)など。



●面積 / 391.91km² ●人口 / 6,545人

本別生まれの「生糞光黒豆」を使用した加工品のブランド「キレイマメ」を全国へ発信する豆のまち。毎年9月には最大のイベント「きらめきタウンフェスティバル」が、1月下旬には節分をテーマに2トンの豆が撒かれる「豆まかナイト」が開催されている。市街近くには高速道路のICがあり、道東の交通の要所となっている。

■地名の由来 / 「ポン・ペツ」(小さな川の意)から転訛。

■観光名所/道の駅テラ★ほんべつ、義経の里 本別公園、幽仙崎、本別町歴史民俗資料館、神居山展望台など。



●面積 / 1,408.04km² ●人口 / 6,545人

林業と農畜産物を主産業とする、放牧酪農推進のまち。町内に自生する、栄養豊富な川の水によって高さ2~3mになる巨大なフサ「螺旋(らわん)フサ」は、北海道遺産に登録されている。道の駅「あしょろ銀河ホール21」は平成29年度に国土交通省からモリデ「道の駅」の認定を受けた。地域の公共交通の拠点として活用されている。町内や、陸別町と三ツ町会を立ち上げ道の駅の連携強化を行っている。

■地名の由来 / 「エ・ショロ・ペツ」(沿って下る川の意)から転訛。

■観光名所/道の駅あしょろ銀河ホール21、阿寒摩周国立公園オントー、オンネトー湯の滝、足寄動物化石博物館、白藤の滝、雌阿寒温泉、芽登温泉、錦沼、里見が丘公園など。



●面積 / 608.90km² ●人口 / 2,279人

酪農と林業が基幹産業で、夏と冬の寒暖の差が70度もある日本一寒い「しばれ」のまち。72歳で徳島から入植した開拓者を祖として頽える。寒さを感じるイメージ「しばれエフスティバ」は全国的に也有名。「星空にやさしい街10選」に認定されており、星とオーロラが観測できる、「りくべつ鉄道」の運転体験が人気で、国内長寿コースには全国から鉄道ファンや家族連れなどが多く訪れている。

■地名の由来 / 「リク・ババ」(高いところにある川の意)から転訛。

■観光名所/道の駅オーロラタウン93りくべつ、ふるさと銀河線りくべつ鉄道、銀河の森天文台、開闢斎資料館、陸別サーキットなど。



●面積 / 729.85km² ●人口 / 4,416人

北海道最東端に位置し、町の面積の約74%を森林が占めている林業と畜産のまち。海岸線には自然の花である「豊北原生花園」や広大な太平洋を見下ろせる「昆布刈石海岸」などもあり、自然豊かなまち。「うらほろ留真温泉」はアルカリ性の高い泉質を持ち、良質な温泉として評判。また、子どもの教育や町の活性化に官民一体となって取り組む「うらほろスタイル」が注目されている。

■地名の由来 / 「オーラボロ」(川尻に大きな葉が生育する所の意)から転訛。

■観光名所/道の駅うらほろ、うらほろ森林公園、うらほろ留真温泉、昆布刈石展望台、豊北原生花園、Uralaa park urahoro、十勝オコッペ遺跡など。

面積:令和4年全国都道府県市区町村別面積調査(令和4年10月1日現在)(国土地理院)
人口:住民基本台帳人口(令和4年1月1日現在)(北海道総合政策部地域行政局市町村課)

帯広開発建設部の機構

●本部

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目 帯広第2地方合同庁舎

総務課	情報公開、職員管理 ☎0155-24-2901
経理課	予算経理、出納、国有財産・物品の管理・処分 ☎0155-24-2902
契約課	入札・契約 ☎0155-24-2903
技術管理課 技術検査官 工事品質管理官	環境・建設副産物、品質確保、技術管理 ☎0155-24-2904
用地課 特定用地対策官	事業用地の取得 ☎0155-24-2905
公物管理課	公共用財産の管理 ☎0155-24-4102
施設整備課	機械・電気・通信設備の整備・管理、営繕事務 ☎0155-24-4103
防災課	防災業務 ☎0155-24-3194
治水課 流域治水対策官 特定治水事業対策官	十勝川水系の河川整備・維持 ☎0155-24-4105
道路計画課 特定道路事業対策官	国道整備・保全の計画 ☎0155-24-4106
道路整備保全課 道路防災推進官	国道整備・保全の実施 ☎0155-24-4104
農業計画課	農業農村整備の計画 ☎0155-24-3192
農業整備課	農業農村整備の実施 ☎0155-24-3191
広報官	広報、意見・要望窓口 ☎0155-24-3193
地域振興対策室	地域づくりの推進 ☎0155-24-3195
道路設計管理官	国道整備・保全の設計 ☎0155-24-1542
道路施工保全官	国道整備・保全の実施 ☎0155-25-1250(帯広道路) ☎0155-24-3148(広尾道路) ☎0156-25-2601(足寄道路)
土地改良情報対策官	「わが村は美しくー北海道」運動他 ☎0155-24-3192

表紙の写真

【メイン】十勝大橋と十勝川 【治水事業】千代田堰堤
【道路事業】北海道横断自動車道網走線_ジブクレーン施工状況

●事務所

■帯広河川事務所 〒089-0536 中川郡幕別町内西町73番地6
☎0155-25-1294

十勝川、札内川、音更川等の整備、維持及び管理
十勝ダム、札内川ダムの維持管理及び当該ダムに係る河川管理

●十勝ダム管理支所 〒081-0154 上川郡新得町字屈足トムラウシ
☎0156-65-3121
●札内川ダム管理支所 〒089-1374 河西郡中札内村南札内73番地2
☎0155-69-4666

■池田河川事務所 〒083-0032 中川郡池田町字利別東町
☎015-572-2661

十勝川、利別川、猿別川等の整備、維持及び管理
●所長 - 副所長 - [総務課 計画課]

■帯広道路事務所 〒089-0536 中川郡幕別町内西町73番地6
☎0155-25-1250

北海道横断自動車道(足寄~陸別小利別)の整備、一般国道38・236(帯広・広尾自動車道)・241・274号の整備、維持修繕及びその他管理
●所長 - 副所長 - [第1工務課 第2工務課]

■広尾道路事務所 〒089-2624 広尾郡広尾町並木通東2丁目5番地
☎0155-88-3148

一般国道236・336号の整備、維持修繕及びその他の管理
●所長 - [総務課 工務課]

■足寄道路事務所 〒089-3718 足寄郡足寄町栄町1丁目43番地
☎0156-25-2601

一般国道241・242・273・274号の維持修繕及びその他管理
●所長 - [総務課 工務課]

■帯広農業事務所

〒080-8585 帯広市西5条南8丁目帯広第2地方合同庁舎
☎0155-24-3196

芽室川西地区、新川二期地区及び新更別地区の農業農村整備事業
●所長 - 副所長 - [第1工事課 第2工事課 第3工事課]

●事業所

■鹿追地域農業開発事業所 〒081-0212 河東郡鹿追町泉町1丁目
☎0156-66-2101

十勝川左岸二期地区及び笛川地区の農業農村整備事業に係る工事
●所長 - 副長

電話番号は帯広開発建設部HPで確認いただけます

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ob/index.html>

トップページ下の「ダイヤルイン案内」をクリック

